

2021年度（令和3年度）事業報告書

2021年（令和3年）4月1日から2022年（令和4年）3月31日まで

特定非営利活動法人大学経営協会

1. 事業の成果

(1) 本協会の活性化を図るための施策

2年目のコロナ禍において、どのような活動が出来るか随時検討を行い、具体的にはオンラインを主体とした活動方法をはじめ、総会記念講演会の講演内容、秋の拡大委員会および新春講演会のテーマ・講演者等について検討しました。

(2) 会員の状況

昨年度に続くコロナ禍に於いて、大半はオンライン参加（一部役員のみ対面参加）によるハイブリッド型講演会を実施したが、新規団体会員の勧誘活動はままならない状況のため新規勧誘の実績はありませんでした。コロナ禍による経済的事情により学校法人2校、企業会委員1社、個人会員3名の退会がありました。

(3) ガバナンス委員会

委員長である北城副理事長が文科省の「学校法人のガバナンスに関する有識者会議」に委員として参加して、委員会の意見を報告書に反映させることに努めました。学校法人制度の改革に関しては、夏に「学校法人ガバナンス改革会議」が設置され、昨年末にその最終報告が出された後令和4年に入り関係者の合意を図る場として、大学設置・学校法人審議会の下に「学校法人制度改革特別委員会」が設置され、3月末に報告書が出されました。この間、委員長と事務局を中心に審議の動向をフォローした。

(4) 財務委員会

我が国私立大学の国際競争力の確立と強化を目指し、その財務基盤の強化の方策について検討をすすめ、米国・英国の大学の事例を参考として、学費と奨学金や資金調達の内訳、産業界との連携など多岐にわたり調査を行いました。その成果として「国際競争力のある私立大学を支える財政基盤の強化に向けて」審議のまとめを作成し、総会記念講演会後に発表しました。その後は次に検討するテーマについて、数回の委員会を開催し議論を重ねております。その一環として2022年3月には拡大財務委員会を開催し、経団連の提言である「新しい時代に対応した大学教育改革の推進について」経団連の担当本部長を招きオンライン講演会を実施いたしました。

(5) 100年委員会

人生100年時代を迎え、経営戦略をどう考えるべきか、大学での学びはどうあるべきかなど、委員の間で様々な構想やアイデアを交換して審議を進めて来ました。その成果として「キャリア教育改革、高度専門職職員の養成、リカレント教育」（これまでの審議のまとめ）を総会記念講演会後に発表いたしました。今後の審議に関し、政府の経済政策のひとつとしてリカレント教育などの能力開発が取り上げられていることを踏まえ、大学におけるリカレント教育について議論を深化させつつあります。2022年3月には拡大100年委員会を開催し、文部科学省から担当課長を招き「リカレント教育の推進について」オンライン講演会を実施いたしました。

(6) 2021年6月総会記念講演会、11月秋季講演会、および2022年新春講演会を開催

総会後には記念講演会として、文部科学省高等教育局私学部長 森晃憲氏より「私立大学を巡る当面の課題と政策」についてご講演をいただきました。

11月の秋季講演会には公立大学法人叡啓大学学長 有信睦弘氏より「我が国の大学院に何を期待するか」についてご講演をいただき、続いて文部科学省高等教育局高等教育企画課長 西田憲史氏より「高等教育当面の課題と政策」についてご講演をいただきました。

また、新春には文部科学省 増子宏高等教育局長より「ウイズコロナ・ポストコロナの高等教育について」ご講演をいただきました。全ての講演はオンライン又はハイブリッド方式（オンラインと一部対面参加者の組合せ）により開催し、当日視聴出来なかった方には後日期間限定によるYoutube配信を行いました。

(7) 「情報の発信」

情報が古くなっていたホームページを見直し、更新・改訂しました。また会員に対する情報提供の一環として、ニュースレターの発行を継続しており、月に1度の発行を目指しNo26～No37まで発行しました。

2. 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	内容	実施日等	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集・普及事業	ホームページによる広報、資料の購入・配布	随時	法人の事務所	3名	会員及び高等教育に関心を持つ一般市民、団体・企業	1,559
	オンライン講演会・オンラインセミナー開催	3回	日本プレスセンタービル他	330名	会員及び高等教育に関心を持つ大学・企業	
大学等経営改善支援事業	ガバナンス委員会	1回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	8名	大学関係者及び当協会会員	142
	財務委員会	7回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	92名	大学関係者及び当協会会員	
	100年委員会	4回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	70名	大学関係者及び当協会会員	
合 計						1,701